

- ◆ 今回の特報は、6/17 発行の「ナシ特報 No7」の薬剤散布（和梨散布目安：有袋 7/1 前後・無袋 6/30 前後、西洋梨散布目安：有袋・無袋 7/5 前後）が完了してから行う防除を記載しています。
- ◆ 裏面には、西洋梨定期散布 新梢管理・夏期管理について記載しています。

和梨【有袋・無袋】共通定期防除（結実不良園については、有袋の散布時期を参考）

散布時期	無袋：7/10 前後（前回から 10 日後） 有袋：7/15 前後（前回から 15 日後）	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤（ハイテンパワー） 10ml ダニコングフロアブル 50ml（前日、1回） キノンドー顆粒水和剤 100g（3日前、9回） 劇オゾン水和剤 40 100g（3日前、2回）	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	黒斑病、黒星病、輪紋病 シンクイムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類、ハダニ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：450 リットル	
注意事項	① シンクイムシ類対策 ：オゾン水和剤 40 に代えて、劇バリアード顆粒水和剤 2,000 倍（前日、3回）でも良い。 ② 【代替】 通常展着剤に代えて、ササラ 2,000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾き早くなる効果がある。	

和梨【無袋】定期防除

散布時期	無袋：7/20 前後（前回から 10 日後）	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤（ハイテンパワー） 10ml コロマイト乳剤 100ml（前日、1回） ベルコートフロアブル 50ml（14日前、5回） 劇イカズチWDG 66g（前日、3回）	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	黒斑病、黒星病、輪紋病 カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類	
散布量	10アール当り：450 リットル	
注意事項	① 【代替】 ベルコートフロアブルに代えてキノンドー顆粒水和剤 1,000 倍（3日前、9回）でもよい。	

次回特報（和梨） 発行予定日：7月14日
7月下旬の薬剤散布について
散布日目安：7月25日頃

- ◆ 西洋梨の定期防除
注意事項は次面をご覧ください。



西洋梨【有袋・無袋】定期防除 (収穫中の作物への飛散に注意する)

散布時期	<u>【無袋】7/15 前後</u> (前回から 15 日後) <u>【有袋】7/25 前後</u> (前回から 20 日後)	散布日：7月 日 散布量： リットル
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ml ダニコングフロアブル 50 ml (前日、1回) キノンドー顆粒水和剤 100 g (3日前、9回) 劇オリオン水和剤 40 100 g (3日前、2回)	
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、ハダニ類	
散布量	10アール当り：600 リットル	

次回特報 (西洋梨) 発行予定日：7月14日
 7月下旬 (無袋) の薬剤散布について
 散布日目安：7月25日頃

◆ **【7月中下旬の重点作業】**

① 土壌水分管理 (土壌水分の激変を緩和)

梅雨明け後の急激な土壌乾燥防止 ⇒ 樹冠下に敷きワラ等のマルチを早めに行って下さい。

② 雑草管理：害虫の発生源となりますので、園内除草を徹底して下さい。

除草剤使用基準：バスタ液剤 (水 1000 当たり バスタ液剤 500 ml) 収穫前日まで、3回以内
 ザクサ液剤 (水 1000 当たり ザクサ液剤 500 ml) 収穫前日まで、3回以内

◆ **南水の栽培管理について**

● **新梢管理**

- ① 徒長枝整理 (幹部、主枝分基部中心)
- ② 必要により 1 芽 2 新梢以上の 1 本化整理
- ③ 徒長枝候補枝の棚へのくぐらせと 45℃誘引
- ④ 摘芯

- ・短果枝からの新梢伸長と長果枝となるものに対し実施する。
- ・果そう葉 4 枚程度残し摘芯する。(4 芽殺し)
- ・その後も伸びるので繰り返し摘芯する。

● **夏季管理**

- ① 主枝 (3 年枝部分) が立ちすぎている場合は、7 月上中旬までに誘引する。
- ② 主枝延長枝は、添え竹等により棚面から 30~40 cm 上げて管理する。
- ③ 主枝先端が強風等で欠落した場合は、近くの横芽から発生した新梢を主枝延長枝として利用する。
- ④ 主枝の半分から先には主枝を負かさない弱めの新梢をなるべく多くおく。
- ⑤ 主枝の棚付け準備：折損を防ぐため枝が柔らかい 9 月中にクセをつける。(冬季の棚付け作業を容易にするため)
- ⑥ 主枝先端はせん定時に誘引しやすいように枝が柔らかい 9 月中に縦支柱からはずして斜め支柱に沿って軽く誘引する。(棚付け前)